

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和 6 (2024) 年度

施設名	栃木県ライフル射撃場
施設所管課	栃木県生活文化スポーツ部スポーツ振興課
指定管理者	栃木県ライフル射撃場管理運営共同事業体「チームとちぎ」 代表者 株式会社狩獵者安全管理センター 代表取締役 谷田貝勝浩 (法人番号 5060001032809)
指定期間	令和 6 (2024) 年 4 月 1 日～令和 11 (2029) 年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市新里乙 1067
施設の概要	① 敷地面積 : 118.337 m ² 建物面積 ; 2,430 m ² ② 射場 第一 24 射座 第二 26 射座 第三 6 射座 ③ 審査室 : 2 室 銃器手入れ室 : 2 室 男女別更衣室 各 1 ④ 駐車場 : 収容台数 300 台
業務内容	① 県ライフル射撃場の施設維持管理に関する業務 ② 県ライフル射撃場に関する事務等業務 ③ 県ライフル射撃場の運営に関する業務

2 収支の状況

令和 6 (2024) 年度

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	24,362	指定管理※2	事業費	161
	利用料金収入	8,041		管理運営費	12,549
	その他収入※1	450		人件費	12,308
				その他支出※1	2,459
	合計	32,853		合計	27,477
指定管理業務収支差額①			自主事業		
自主事業			2,348		
自主事業収支差額②					
収支差額 (①+②)					
備考 (※1 その他収入の主なものを記載) ・自動販売機収入と電気料金 ・標的・教習射撃・技能講習等受講料			備考 (※1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課費 ・事務費 (消耗品・備品修理・賃借料)		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和 5 (2023) 年度 (前年度)

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	29,964	指定管理※2	事業費	94
	利用料金収入	0		管理運営費	13,455
	その他収入※1	303		人件費	13,472
				その他支出※1	2,691
	合計	30,267		合計	29,712
指定管理業務収支差額①			自主事業		
自主事業			1,895		
自主事業収支差額②					
収支差額 (①+②)					

備考（※1 その他収入の主なものを記載） ・自動販売機収入と電気料金	備考（※1 その他支出の主なものを記載） ・事務費（消耗品・備品・賃借料等）
---------------------------------------	---

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

3 利用状況

施設名	項目	令和5(2023)年度 (前年度)	令和6(2024)年度
第一射撃場	利用可能日数	305	312
	利用日数	300	182
	利用率	91%	57%
	利用者数	2,423	1,889
第二射場	利用可能日数	305	312
	利用日数	300	213
	利用率	91%	67%
	利用者数	4,139	3,603
第三射場	利用可能日数	305	312
	利用日数	300	249
	利用率	91%	78%
	利用者数	1,608	1,626

4 サービス向上に向けた取組

利用者希望の場合 施設開場・閉場時間の延長。
 設備・備品等をスムーズに利用できるよう日頃から整備・修繕管理を怠らない。
 障害者、難病指定の方々へのマンパワーによる気遣い配慮を行う。
 ホームページ掲載について。（予約確認、仮予約）
 初心者向けの射撃会等を開催し、沢山の方に施設を利用してもらえるよう配慮する。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
意見箱、メール等による意見集約。				
利用者アンケートの結果				
回答数				
主なアンケート項目	満足	やや満足	やや不満	不満
① 施設の安全管理・清掃	97%	3%		
② スタッフの応対	95%		5%	
③ サービス内容	98%	2%		
④ 利用料金	100%			
⑤ 備品等の利用	95%			5%
主な利用者意見（苦情・要望）	対応			
・合宿等で連日利用する場合、荷物の保管等をして欲しい。	・貴重品・銃器については預かれない旨伝え、ユニフォーム等については鍵の掛るロッカーにて自己責任で対応。			
・専用利用以外でも予約の確約をしてほしい。	・専用以外の予約制がない事を伝え、利用日に電話等を入れてもらうことで利用状況を伝え、多くの方が利用できるよう配慮している。			
・駐車場等の街灯設備について 冬場は暗いので不安である。	・昨年度は仮設の街灯で対応したが、今年度は常設の人感センサーを設置した。			

主な利用者意見（積極的評価）
・利用料金の安さ、施設の使い勝手の良さを評価。
・駐車場が広くて、段差がないため、身障者にも優しい施設で助かる。
・学生としては、女性のスタッフがいるので、衛生面等で安心である。

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
県スポーツ大会、障害者スポーツ大会等を通じて多くの方々に、他の射撃場と比べての利便性、低料金での利用を周知してもらうことができた。 また、パリオリンピック選手の来場を機に、ビームライフルの体験希望者が増加し、継続的な利用に繋がっている。学校の長期休みに合わせて、ビームライフル、ビームピストルの射台を増設。 スタッフの言葉かけや、マンパワーにより学生の合宿・大会等では、全国からの予約を頂けるようになった。
大会等に向けた取り組み
・多くの方のニーズに答えるため、備品や器具等の管理・修繕を行っている。 ・大会の場合は、利用する責任者と打合せを行い、スムーズな運営ができるよう開場時間・閉場時間会場設定・機具の準備を行っている。
今後改善・工夫したい事項
・来場人数が多い場合、浄化槽の容量が足りなくなることがある為、簡易トイレ等の準備を行い利用者が不便を感じないよう配慮していく。 ・SIUS の機械故障が無いよう、定期的に整備し隨時対応していく。 ・平日に、射場主催の射撃大会・体験会等を開催し、平日利用者の増加に繋げていきたい。

7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保された	利用者からの問合せに対して、利用状況を伝えることにより多くの方が利用できるよう配慮し、平等利用の確保に努めた。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行はされたか	利用申込書により、利用を適正に管理していた。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	スタッフによる声かけや筆談等、配慮がなされた。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	地域スポーツから全国レベルの大会まで幅広い利用の促進、また、地域の獣害対策のための猟銃による捕獲技術力向上に寄与する等、設置目的に沿った業務が実施されていた。	B
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	初心者向けの射撃会等を開催すること等により、施設の利用促進や県民サービスの向上が図られた。	A
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	受付等にて利用者とコミュニケーションを図り、満足度の向上に努めた。	A
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	意見箱の設置や口頭での聞き取りを行い、利用者の意見や苦情をスタッフ間で共有し、誠意ある対応に努めた。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	チェックリストを用いて日頃から整備や修繕を行い、維持・安全管理を適切に実施していた。	B

	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	構成団体で連携し、スムーズな運営ができるよう改善に努めた。	B
3．管理を安定的に行う物的基盤	①組織体制は適正か	射撃や施設管理に詳しい経験豊富な職員や女性のスタッフを配置し、適正に管理を行っている。	A
	②収支は適正でバランスがとれたものか	適正な予算配分で執行し、概ね適正である。	B
	③経費の縮減に取り組んできているか	経費の縮減に努めた。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	OJTの計画を立て、実施している。	B
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急連絡網を作成し、事故等の緊急時にに対応可能な体制を確保している。	B
	⑥県や関係機関との連携ができているか	大規模大会の開催において、県や競技団体と密に調整を行い、スムーズな大会運営を行っている。	A
4．個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報保護マニュアルの作成等、計画どおり実施された。	B
	②情報公開は適切になされているか	文書等の開示に関する規定を制定しているが、開示請求はなかった。	B
5．その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	聞き取り等で利用者ニーズを把握し、自己評価を行っている。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	射撃講習や火薬類・射撃用品の販売等、計画どおりに実施された。	B
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	ライフル射撃場主催のイベントは実施しなかった。	B
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	不要な照明の消灯、冷暖房の設定温度の適切な管理、用紙類の使用の削減等、環境への配慮がなされていた。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	消毒液を設置する等のコロナ対策を実施している。	B

総合的な評価

- ・初心者向けの射撃会等を開催し、より多くの方に施設を利用してもらえるよう努めた。
- ・大会の際は、利用団体の責任者等と打合せを行い、スムーズな運営ができるよう努めた。
- ・必要に応じて、ビームライフルやビームピストルの射台を増設することにより、体験希望者の増加に繋がった。
- ・日頃から整備や修繕管理を行うことで、設備や備品等をスムーズに利用できるよう努めた。
- ・ホームページ上で予約の確認や仮予約を行える環境を整備した。
- ・利用者の希望に応じて、施設の開場・閉場時間の延長を検討した。
- ・利用者からの要望に応じて、常設の人感センサーを設置した。
- ・女性のスタッフを配置することで、利用者にとって、より利用しやすい環境を整えた。

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。